

会 議 録

会 議 名	酒田市子ども・子育て会議（令和4年度第2回）	
内 容	<p>○協 議</p> <p>（1）保育所等利用定員の変更について</p> <p>（2）保育所等利用定員変更基準の見直しについて</p> <p>○報 告</p> <p>（1）公立保育園における紙おむつ定額サービスの実証実験について</p> <p>○その他</p> <p>（1）本市の人口動態及び人口推計について</p> <p>（2）要保護児童対策地域協議会研修会について</p> <p>（3）公益活動団体協働提案事業講演会について</p>	
日時・場所	令和4年8月18日（木）午前10時30分～11時20分・酒田市役所703会議室	
出席者	委 員	柿崎 敦子委員、渡部 仁利委員、富山 航太郎委員、佐藤 恵美委員、 佐藤 真紀委員、菅原 司芝委員、山口 昇子委員、石垣 紀子委員、 宮田 浩一委員、齋藤 雄一委員、遠藤 由美子委員、大滝 晋介委員、 灰谷 和代委員、岡部 寛委員
	事務局	健康福祉部長兼福祉事務所長、福祉企画課長、健康課課長補佐、教育委員会学校教育課学事主査、子育て支援課長、子育て支援課子ども・家庭総合支援主幹兼子ども・家庭総合支援室長ほか
会議の結果	別紙のとおり	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠席名簿 ・ 資料1 保育所等利用定員の変更について（令和5年度） ・ 資料2 保育所等利用定員変更基準の見直しについて ・ 資料3 公立保育園における紙おむつ定額サービスの実証実験について ・ 資料4 酒田市の人口等（年齢別・自然動態・社会動態、婚姻件数）の推移 ・ 資料5 酒田市人口ビジョン（抜粋） ・ 資料6 研修会「ヤングケアラーについて理解しよう」チラシ ・ 資料7 講演会「地域で支える子育て支援」チラシ 	

酒田市子ども・子育て会議（令和4年度第2回）

日時：令和4年8月18日（木）

午前10時30分～11時20分

場所：酒田市役所703会議室

～ 1 開 会 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。暫時の間進行を務めさせていただきます、子育て支援課課長補佐の渡部と申します。どうぞよろしく願いいたします。なお、本日欠席の方をご報告いたします。公募委員 薬丸有希子様、酒田市自治会連合会 高橋利春様、酒田市民生委員・児童委員協議会連合会 加藤武雄様、連合山形酒田飽海地区協議会 鈴木渉様、酒田商工会議所女性会 伊藤直子様、以上5名の委員より欠席のご連絡をいただいております。従いまして、本日は、委員20名中15名のご出席をいただいております。酒田市子ども・子育て会議条例第7条第2項に委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないと定めておりますが、本日は規定の要件を満たしておりますことをご報告いたします。それではこれより、令和4年度第2回酒田市子ども・子育て会議を開会いたします。次第に従いまして進めさせていただきます。初めに、健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。

～ 2 健康福祉部長あいさつ ～

○健康福祉部長

おはようございます。お足元の悪い中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。5月に開催いたしました第1回の本会議では、委員の皆様お一人おひとりから、新型コロナウイルス感染症の状況における、ご家庭や保育施設、学校、地域社会などでの影響について、生の声を率直に聞かせていただいて大変貴重な機会になったと記憶しております。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株がどんどん変異をしていって、昨日は県も酒田市も最高の数字となってしまいました。医療現場、介護現場、保育現場それぞれで、大変な思いをしていただいているところかと思えます。引き続き、皆様にも感染対策にご協力をお願いしたいと思っております。

ここで、一つ酒田市の新しい取り組みについてご報告させていただきます。8月1日号広報は、表紙が7月31日にグランドオープンした「ミライニ」になっておりますが、それ

を2ページめくっていただきますと、特定不妊治療に関する新しい制度、公的医療保険が始まってからの酒田市の新しい補助制度を記載させていただいております。これまでも県内トップクラスの特定不妊治療に対する補助をしておりましたけれども、本年4月から、公的医療保険の適用となっております生殖補助医療に関しても、自己負担分の3割の中から、高額療養費あるいは県の補助を除いた残りの部分に対して、酒田市が補助をするという制度となっております。いずれは、日本海総合病院、日本海ヘルスケアネット地域医療連携推進法人とともに、日本海総合病院で不妊治療ができるような体制を日本海ヘルスケアネットの方でも準備しておりますので、そちらとも連携をしながら、進めて参りたいというふうに考えております。地域の皆様、企業の皆様からも、この不妊治療に関してのご協力、ご理解をいただければ大変ありがたいと思っております。

本日、第2回目の会議となりますが、保育所等の定員の変更に関するご協議などを議題として予定しております。委員の皆様方からは率直なご意見を賜ればと思います。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

～ 配付資料確認、自己紹介 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは、本日配付しております資料のご確認をお願いいたします。(後略)

次に、議事に入る前に、今年度初めてご出席いただきました委員の皆様から自己紹介をいただきたいと思っております。所属、お名前など、一言ずつお願いいたします。まず、菅原司芝委員からお願いいたします。

○菅原 司芝委員

こんにちは。前回、体調不良で欠席させていただきました。私は、特定非営利活動法人がくほれん with 酒田というところで、市街地及び平田地区それから南平田地区の学童保育所の連合体の事務局長をしております。今後ともよろしく願いいたします。

○子育て支援課課長補佐

次に、宮田浩一委員、お願いいたします。

○宮田 浩一委員

前回は、県庁で山形県青少年育成県民会議の総会があったものですから、欠席させていただきました。酒田市子ども会育成連合会の、平成24年まで会長をやって、今は相談役として子どもたちの安全安心、それから全国子ども会育成連合会でやっています安全共済の担当もやっております。また、5月5日の「子どもまつり」のずっと実行委員長をやってきたんですけれども、ここ3年ほど残念ながらできなくて、その代わりに7月に青年会議所の県内のメンバーが集まりまして、スマイルフェスティバルをやったものですから、来年は何とかやりたいなと考えておりますので、事務局もよろしくお取り計らいくださるよ

うお願いします。宮田といいます。亀ヶ崎小学校の学区です。よろしくお願いします。

○子育て支援課課長補佐

次に、斎藤雄一委員、お願いいたします。

○斎藤 雄一委員

皆さんこんにちは。酒田市小学校長会、新堀小学校の斎藤雄一と申します。前回、飽海地区の小学校長会の会議と重なりまして、欠席させていただきました。よろしくお願いします。

○子育て支援課課長補佐

最後に、大滝晋介委員、お願いいたします。

○大滝 晋介委員

酒田地区医師会十全堂のおおたきこどもクリニックの大滝といいます。よろしくお願いします。前回ちょっと日程が合わず欠席させていただきました。今、福祉部長の方からもありましたけれども、今すごいコロナの患者さんが増えて、夏休みなのに全然減る傾向がありません。今日も朝クリニックに顔を出して、昨日検査した人達の結果を見てきたんですが、昨日8人検査して6人陽性で今日保健所の方に届けを出したんですが、今自宅療養している患者さんの数がものすごく多くて、実際に私がもっている患者さんは70人を超えています。毎日一件一件電話をかけるのも大変なので、具合が悪いときは連絡くださいということで、携帯の番号を教えて常に持って歩いているような状態なんですけど、大体家族で出ますと一家全滅という形で、一番小さいお子さんは2カ月の子どもさん、今日報告した患者さんは4カ月の赤ちゃんが感染しています。感染対策は皆さん重々承知の上だと思うんですが、なにせ一家同居していると、ついついマスクを外したりとか、食事を一緒に取ったりという形で全滅してしまいますので、念には念を入れて、感染対策の方よろしくお願いします。特に、保育園、学童も結構クラスターを起こしていたりしますので、ついつい気が緩んで感染という、ただ重症になる患者さんはあまりいませんので、これがこれから先、今のような全件把握はしないで、定点報告ってというような報告もありますけども、ただ感染力は非常に強いので、お気をつけください。以上です。

○子育て支援課課長補佐

ありがとうございました。それでは議事に進みたいと思います。これより進行を灰谷会長にお願いしたいと思います。灰谷会長よろしくお願いします。

～ 3 協 議 ～

○灰谷会長

灰谷でございます。よろしくお願いいたします。第1回会議において、ご挨拶申し上げたところではございますが、今回、今年度初めてご出席の委員もいらっしゃいますので、改めてご挨拶したいと思います。私は、つい昨年度3月末までは、東北公益文科大学において、児童福祉の分野の教員をしておりました。この4月からは、山形酒田を離れることになってしまいましたが、静岡県にあります静岡福祉大学で、主に保育士養成に携わっておりまして、いま子ども・子育て支援の分野の教員として、しかしながら、児童福祉の分野を主にさせていただいております。酒田にいたる間は、コロナや雪のこともあり、なかなか地域に出て、子どもや子育て支援について携わることができなかつたのですけれども、離れてからもこうした形で、また皆さんと色々な酒田市のことや子育てのことについて話し合える場に、こうして参加させていただけることをとても光栄に思っております。拙い進行になるかもしれませんが、委員の皆様には忌憚のないご意見やご質問をいただきまして、議事進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。今日も静岡から来ましたが、先ほども感染の数が多いということで、私も重々予防対策をして、もし体調が悪くなったりしたらすぐにご連絡をするつもりで来ましたが、何とか無事こちらに来ましたので、皆さんもまだまだこれから落ち着かない日々だと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。協議事項として、まず1番目、保育所等利用定員の変更についてということで、資料1により事務局から説明をお願いします。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

(資料1により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。保育所等利用定員の変更についての説明がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

大丈夫なようであれば、次に、2番目の保育所等利用定員変更基準の見直しについて、引き続き説明をしていただきたいと思います。資料2により事務局から説明をお願いいたします。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

(資料2により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。保育所等利用定員変更基準の見直しについての説明がありました。ご意見またはご質問などがあれば、お聞きしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

○大滝 晋介委員

ちょっと前の定数の変更について戻ってしまうんですが、今酒田市では、待機児童とい

うのはゼロですか。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

過去を含めて、待機児童はゼロとなっています。

○大滝 晋介委員

この会議の初めの頃に待機児童が何人かいて、ただ書面上の定数は足りていたんだけど、実際に待機児童の30人位いた時期があったので、ちょっとそれで心配だったんですが、今は待機児童はゼロということによろしいでしょうか。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

その通りです。

○灰谷会長

ほかに質問、意見等はありませんでしょうか。

○山口 昇子委員

現行の基準ですと2年を待ってというところですがけれども、今回の見直し案は90%未満で、例えば今年度90%未満の場合、次年度から変更可能という解釈でよろしかったでしょうか。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

今回この子ども・子育て会議で承認をいただければ、8月17日付けでその基準を発信したいと考えておりますので、今年の1月から12月で90%もしくは110%になれば、来年度から変更できるということになります。

○山口 昇子委員

法人保育園の方でも、今年度の4月1日で、入所定員を割っている園さんも増えてきているように感じておりました。そのあたりからも、適正に柔軟な定員数の変更というものが本当に必要になってくるんだなというふうに感じていたところです。今後も、酒田市の少子化は進んでいくのかなというふうに思いますので、そこら辺は積極的な定員変更、それから、適正な保育事業の運営ができますように、今後ともご協力いただければと感じているところです。

○灰谷会長

ほかには、いかがでしょうか。先ほど待機児童のご質問等もありましたけれども、全国的にも8割も待機児童は解消されているというデータとなっております。今も、都心の方でも駅の近くだとかそういうところでは、待機児童はまだ発生しているのですが、郊外になっていきますと、徐々に人口減の関係から定員割れになっているところもございますの

で、酒田市もそういった人口の動向を見ながら、進めていけたらいいのかなというふうに今のお話を聞いて私自身も思いました。

以上いかがでしょうか。特になければ、次に移りたいと思います。

～ 4 報 告 ～

○灰谷会長

報告事項の1番目、公立保育園における紙おむつ定額サービスの実証実験について、資料に3より事務局から説明をお願いします。

○子育て支援課課長補佐

(資料3により説明)

○灰谷会長

公立保育園における紙おむつ定額サービスの実証実験について説明がありました。ご意見またはご質問などあればお聞きしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

○山口 昇子委員

このようなおむつの定額サービス、いろいろな業者さんでやっているのも存じ上げているところですけども、これは、おむつを利用している全園児の保護者に対して行うのか、それとも希望制というかそのようなものを募るのかというところが1点。もう一つ、成長過程においてトイレトレーニングが進みますよね。その中で、赤ちゃんのときのようにたくさんおむつを使用する頻度がだいぶ減ってくる中で、このような定額利用というところで、どのように活用していくのかというところを、教えていただければと思います。

○子育て支援課課長補佐

サービスが実証実験の期間は、紙おむつを使っている皆さんにお声掛けをいたしまして、先ほど申しました通り、9割以上の方が参加をいただきました。本格導入ということになりましたら、希望制でございます。希望されない保護者は、紙おむつを今まで通り購入して、お持ち込みをしていただくこととなります。紙おむつのトレーニングのお話になりますけれども、委員おっしゃられた通り、0歳児と、もう3歳になろうかという2歳児では、使用する枚数なんかも全く異なって参ります。その辺は保育園の方でも気をつけまして、紙おむつの使用枚数が少なくなってきたら、保護者と連絡を取り合いながら、過剰な負担とならないように努めて参りたいと考えております。

○灰谷会長

ほかには、いかがでしょうか。

○富山 航太郎委員

僕も実証実験たいへん素晴らしいことだと思っています。ぜひやっていただければと思っているんですけども、ちょっと一つ。今回の実証実験の結果等は、今回は公立保育園となっていますけれど、私立の幼稚園、保育園、認定こども園等の園長さんなり皆さんと共有していただいて、あとは園の判断になると思いますけれども、公立だけじゃない方に広げていく動きっていうのは予定していますか。

○子育て支援課課長補佐

委員おっしゃる通り、公立保育園以外の民間の保育園では、導入されるかどうかというのが最終的には園の判断になると思いますが、ここで得た情報については、共有できるように、周知を図りたいと考えております。

○灰谷会長

ほかにはいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、ないようでしたら、以上で議事を終了します。委員の皆様には、会議の進行にご協力いただきありがとうございました。では事務局へお返しします。

～ 5 その他 ～

○子育て支援課課長補佐

灰谷会長ありがとうございました。では、その他に進ませていただきます。まず、(1)として、委員より事前に資料提供のご要望をいただきました、本市の人口動態及び人口推移について、資料4資料5により事務局から説明をいたします。

○子育て支援課長

(資料4・5により説明)

○子育て支援課課長補佐

本市の人口動態及び人口推定についてご説明させていただきました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思います。皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では次に、(2) 要保護児童対策地域協議会研修会について及び(3) 公益活動団体協働提案事業講演会について併せて事務局からご説明いたします。資料6及び資料7でございます。

○子育て支援課子ども・家庭総合支援主幹兼子ども・家庭総合支援室長

(資料6・7により説明)

○子育て支援課課長補佐

要保護児童対策地域協議会研修会、公益活動団体協働提案事業講演会についてご説明をさせていただきました。ご意見またはご質問などあればお聞きしたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局からお知らせでございます。次回の会議については、開催時期が決まりましたら、文書でご案内をいたします。次に、民間からおいでいただいている方々に対しては、報酬及び旅費をお支払いいたします。小さな封筒に内訳書を入れてお配りしております。およそ3週間で指定口座へ振り込みされますので、ご確認をいただきたいと思っております。以上、事務局からご連絡でした。

皆様から、ほかに何か連絡等ございませんでしょうか。

～ 6 閉 会 ～

○子育て支援課課長補佐

では、長時間にわたりありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第2回子ども・子育て会議を閉会いたします。